



HIROKI YOSHIDA

OFFICIAL RELEASE

Race	SUPER GT Rd.2
	FUJI GT 500km RACE
Date	2015.05.02-03
Race Track	FUJI SPEEDWAY
Team	RUNUP Group & DOES GT-R



今季初の Q2 進出、決勝は 13 位から追い上げを狙う。

岡山の開幕戦から約 1 ヶ月が経ち、第 2 戦富士 500 キロを迎える事になりました。今回舞台となる富士スピードウェイはストレートが長く、私たちがドライブしている GT-R と相性のいいサーキットになります。レース距離は通常のレースより 200 キロ長い 500 キロとなり、タフなレースが予想されます。そしてこのレースは距離が長いので各チーム 3 人までドライバーを登録する事が可能であり、RUNUP にはスーパー耐久などで経験豊富な成澤選手に加入してもらおう事になりました。また、今期チームとコラボしているロックバンド「DOES」のメンバーも応援に駆けつけてくれました。

2015.05.02 FREE PRACTICE (フリー走行 11 位 / 27 台中) WEATHER : DRY

この日は晴天の中フリー走行がスタートしました。セッション開始と共にコースインし、開幕前のテストで進めていたセッティングの確認を行います。今回は 1 時間 35 分のフリー走行の中で 3 人のドライバーが各役割を果たさなければならないため、まずは 7 周ほどしたところで田中選手にドライバー交代しました。しかし、ここでパワステのトラブルが発生し、その対策に時間を費やしてしまいます。修復した後は今回が GT デビュー戦となる成澤選手にドライバー交代し、マシンバランス確認や GT 500 クラスとの混走を経験して貰いました。そして残り 20 分の時点で再び私にドライバー交代し予選シミュレーションを行ったのですが、路面コンディションが悪く、朝一の自分のタイムを更新する事が出来ないまま 11 番手でフリー走行を終える事となりました。



2015.05.02 QUALIFYING (公式予選 13 位 / 27 台中) WEATHER : DRY

午後に入り公式予選の時間を迎えます。この日は予想していたよりも気温が高かったため路面温度も高く、タイヤ選択にも大きな影響を及ぼしました。

今回は通常よりもレース距離が長いので、予選よりもレースに重点をおいて選択しました。Q1 は私が担当することになったのですが、予選開始直前まで違うクラスのレースが行われていたこともあり、予選がスタートしてから少し時間をおいてコースインしました。徐々にタイヤを温めアタックした結果、自己ベストを更新しさらにセクタータイムを縮めていたのですが、赤旗中断となってしまいます。



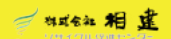
赤旗解除後、残り 5 分の時点で 10 番手につけていたのですが、Q2 に進出するには 13 番手以上をキープする必要があるため、再びアタックを開始しました。しかしここからタイムアップは出来ず、最終的に少しポジションを落とし 12 番手で Q2 の田中選手へバトンを渡します。

田中選手は朝のフリー走行でトラブルに見られ 3 周ほどしか周回していなかった影響もあったと思いますが、その中でベストなアタックをしていただき 13 番手で翌日のレースをスタートすることとなりました。

また、この日のキッズウォークの際にチームとコラボしているロックバンド「DOES」のメンバーが、GT 史上初となるゲリラライブをビットロードで行い、観客を多に盛り上げてくれました。



SPONSOR





HIROKI YOSHIDA

OFFICIAL RELEASE



序盤のマシントラブルに負けず、チーム一丸で15位完走を果たす。

2015.05.03 RACE (決勝 15位 / 27台中)

WEATHER : DRY

決勝日の朝を迎え、フリー走行も晴天の中スタートしました。
この時間は前日のフリー走行であまり走れなかった田中選手と成澤選手に走って頂き、燃料を積んだ状態のレースセットの確認をしてもらいます。

午後に入り気温、路面温度がどんどん上昇する中、8分間のウォームアップがスタートし、私もそこで最終的なマシンバランスをチェックします。
グリッドについてからは、長いレースを見据えて若干のセット変更を行いスタートの時を待ちます。14時を過ぎ1周のパレードラン、フォーメーションラップの後、いよいよFUJIS 00キロのレースがスタートしました。

スタートはまずまずでポジションをキープしたまま、1コーナー、コココーラコーナー、100Rとクリアしていったのですが、ヘアピンでの場所取りが悪く、少しポジションを下げてしまいます。そのままのポジションで2周目に入り前の車に仕掛けるタイミングを見計らっていたのですが、ヘアピンでのブレーキングでブレーキに違和感を感じます。しかし嫌な予感的中し、続くダンロップコーナーでは明らかにブレーキトラブルが発生してしまいます。そこからは慎重にドライブレ、緊急ピットイン。

すぐに原因は確認出来たのですが、パーツ交換の必要やブレーキ周りのトラブルという事もあり、メカニックさんも慎重かつ、迅速に作業を進めてくれました。そのお陰で、およそ30分ほどの修復時間で再度コースインする事が出来ました。

この時点でクラス27番手、約16周ほどの周回遅れでしたが、8月にもう一度富士ラウンドもあるのでデータを取るためにも全力で周回を重ね、私→成澤選手→田中選手とバトンを繋ぎます。その結果、最終的にはクラス15位でチェッカーを受ける事が出来ました。

この結果からわかるように、今回のレースは走りきること難しい、凄くタフなレースだったと思います。

私たちは次戦のタイヤラウンドは参戦しないので、8月の富士ラウンド、鈴鹿1000キロと続きますが、今回リタイヤせずにレースに復帰し、周回を重ねたことは今後のレースに繋がると信じています。

次戦まで少し時間が空きますが、今回のデータやトラブルの原因をしっかりと分析し万全の状態での8月の富士に帰ってきたいと思っています。今後も引き続き、「RUNUP・WITH・DOES GT-R」の応援よろしくお願ひ申し上げます。



 吉田 広樹



SPONSOR



とくとく3star
倍のぼ

株式会社 相建



HEARTFUL
SQUARE

